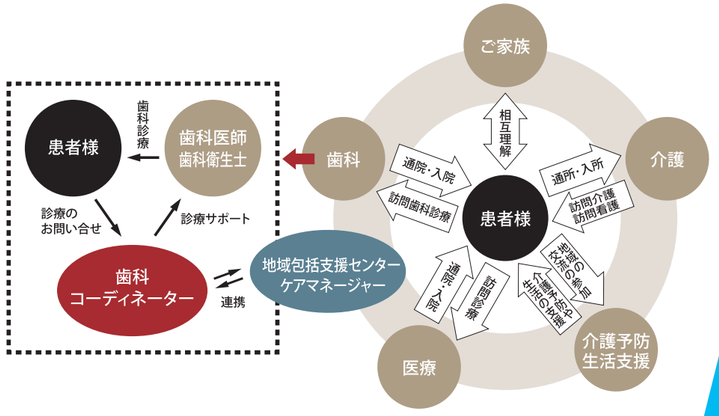
http://mizuho-kai.jp/

医療法人社団 みずほ会

広島市中区袋町5-13 JDS袋町ビル5F
……TEL082-242-0102

〈事業所〉
■清水歯科医院……TEL082-227-5365
広島県広島市中区基町11-5-2F
■ゆず歯科医院……TEL082-296-4224
広島県広島市西区横川町3-2-36
■高陽歯科医院……TEL082-842-2688
広島県広島市安佐北区真亀3-3-16
■倉掛歯科医院……TEL082-843-2699
広島県広島市安佐北区倉掛3-40-3
■亀崎歯科医院……TEL082-842-0648
広島県広島市安佐北区亀崎1-2-26-2F
■久地歯科医院……TEL082-837-1155
広島県広島市安佐北区安佐町久地1207-1
■伏見町歯科クリニック TEL084-922-8474
広島県福山市伏見町4-20
■蔵王歯科医院……TEL084-943-8600
広島県福山市南蔵王町5-9-18-3F
■真壁歯科医院……TEL0866-93-6740
岡山県総社市真壁字下高原東1638-16
■土原歯科医院……TEL0838-25-0380
山口県萩市土原字川島沖田488-3
■タートルズ歯科クリニック
……TEL03-3682-6225
東京都江東区亀戸5-14-3
■アーク歯科クリニック…TEL045-862-3561
神奈川県横浜市戸塚区戸塚町120-9
■アール歯科庄内通
……外来診療 TEL052-532-8787
……訪問診療 TEL0120-118-307
愛知県名古屋市西区又穂町6-29
■アール歯科クリニック…TEL052-626-2843
愛知県名古屋市緑区南大高2-450-2F
■訪問歯科診療部……TEL082-242-2555
広島県広島市袋町5-13-7F
■歯科技工所コロナ歯研 TEL082-242-2550
広島県広島市袋町5-13-6F



こうしてケアマネージャーは訪問診療やケアプランを組み立てていき、ドクターや歯科衛生士は本来の医療に集中できるというわけなんですね。

必要なのは、資格ではなく「人間力」。

小さなことにも気づく細やかさと気配りで歯科医療と福祉をつなぎ、利用者さんの幸せにつなげていく。そんな素晴らしい歯科コーディネーターになるには、どんな資格がいるのでしょうか。「実は仕事内容も決まりがあるわけではなく、資格も必要ないんですよ」と理事長。

「大切なことは、まず話をよく聞くことです。利用者さんの現状を具体的にドクターや歯科衛生士、ケアマネに伝えるには、利用者さんの目線で〝分からないこと〟を曖昧にせずきちんと聞く。それをどんな言葉で伝えるか、そしてどう対処していくかを考えて動きます」と半澤沙織さん。「コーディネーターの私だって歯科のことはよく分からないからこそ、先生に聞いてちゃんと説明して差し上げようと思うんです」と西谷さん。

利用者さんの「分からない」ことを同じ目線に立って聞けるやさしさ！これこそが「人間力」です。「分からない」ことはマイナスばかりではなく、「人間力」があれば人をつなぐ強力なツールにもなるのですね。

須田さんも半澤さんも西谷さんもこの仕事に就く前、医療や福祉関係以外の仕事もされておられ、そこで培われた人と人をつないで仕事を進めていく経験が「人間力」を育んでくれたのでしょう。

「個人の人間性はもちろんですが、資格制度などの法的根拠も必要です。あらゆる利用者さんのQOLを保ち、幸せにつなげるために、コーディネーターをもっと増やしたいですね」と理事長は力を込めて語ります。

ワンチームで「つなぐ」一人一人の幸せ

編集長の「知らなかった！」リポート。

介護の必要な患者さんや家族と歯科医療、福祉を「つなぐ」歯科コーディネーター

施設に入所している高齢者や自宅でも一人暮らしや認知症などで歯科に行くことが難しい高齢者は、訪問診療を受けるにも、歯の治療や薬の説明を受けるにも、理解が難しくなってきます。そのご家族も聞きづらいこと分からないことなどを「うまく伝えてくれる人がいたらいいのに」と思ったこと、ありますよね？ そんな悩みを引き受けて医療や福祉の現場をつないでくれるのが「医療法人社団みずほ会」の「歯科コーディネーター」さんです。

歯科コーディネーターは、体の細胞をつないでいる血液のよう。

「訪問診療で一番に必要なのがコーディネーターなんですよ」と理事長の清水肇先生。

医療従事者は専門家ですが、患者さんの体調や暮らしぶりを知っているワケではありません。また、ご本人も入れ歯やかみ合わせの不具合を自覚していなかったり、家族であっても体の状態や思いをちゃんと把握していなかったりします。コーディネーターはそれぞれの立場や思いを受け止め「何が必要か、何をすべきか」を見極めてドクターやケアマネさんとをつないで、適切な処置をスムースに受けられるよう段取りをします。

部長の須田政史さんは「ドクターもケアマネも単独で利用者さんのよりよい人生を支えていくことはできません。その隙間を埋め、つないでいくコーディネーターという仕事を続けてきて、ますますその仕組みの必要性と大切さを感じています」と話します。まさに、全てが順調に動くために体中に張り巡らされた血液のようです。

「利用者さんの状況は現場を知らなければ気づかないことって、たくさんあります。治療方針やケアプランをわかりやすく説明したり、治療やケアに不安を抱いている利用者さんに声をかけたり、ご家族が聞きづらいことを代わりに聞いて説明して差し上げたりすると、ほっとしたような笑顔になられるんです。この仕事をしていてよかったと思う瞬間です」と言うのは、「一番よく現場に出ている」西谷清美さんです。

「利用者の目線で」とコーディネーターの半澤さん

現場をよく知るコーディネーター、西谷さん

表には見えないけれど大切なつなぎ役、コーディネーターの須田さん